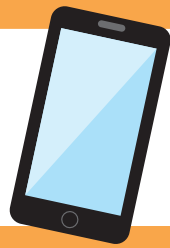


各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



Q (仮称) 御殿町公園の整備について

立憲民主党越谷市議団 後藤 孝江 議員

問 公園整備の現状と今後の整備計画は。
市長 平成16年に都市公園整備計画が定められ、昨年度末までに面積の約85%の用地を取得した。今後は未買収用地の取得に努めるとともに、地域の意見を踏まえながら、防災機能を備えた公園整備と併せて、災害時などの際の緊急車両等の侵入可能な取付け道路等の整備も検討する。また、買収済みエリアの暫定利用についても、高木伐採や広場整備等の検討をしていきたい。



(仮称) 御殿町公園



Q 越谷アルファーズアリーナ整備に対する検討の現状について

越谷刷新クラブ 野口 高明 議員

問 民間ノウハウや収益の最大化は、民設民営だからこそできることであるとの認識で、市長も同様の答弁をしている。アリーナは民設民営でと考える最大の理由は。
市長 まちづくりには関与するが、収益を出す、にぎわいを作るうえで、行政がやるよりも、民間の力をどれだけ引き出せるかは非常に重要な視点である。一方で民間で全てできるかはさまざまな課題がある。市としてどこまで協力できるか検討する。



Q 北越谷駅以北の鉄道高架化促進への取り組みについて

自由民主党越谷市議団 清田 巳喜男 議員

問 今、この問題については、市長のリーダーシップが求められている。今後の高架化促進に向けた市長の意気込み、熱意は。
市長 今後、さまざまな機会を捉えて、国関係者、埼玉県、東武鉄道へしっかりと要望を行っていく。北越谷駅以北の高架化実現は、大変重要な施策と捉えていることから、長期的な視点で実現に向けて、しっかりと取り組んでいきたい。



Q 多様な課題に対応する福祉支援の連携強化について

立憲民主党越谷市議団 土屋 来夢 議員

問 令和6年生活困窮者自立支援法等改正により、自立相談支援事業の居住支援が強化される。本市では、どのように対応する予定であるのか、市長の見解を伺いたい。
市長 生活保護受給世帯の高齢者が増加している中、本市でも居住支援事業の強化が必要であると認識している。情報を収集し、実施に向けた検討を進めていく。



Q 市長のリーダーシップについて

自由民主党越谷市議団 金井 直樹 議員

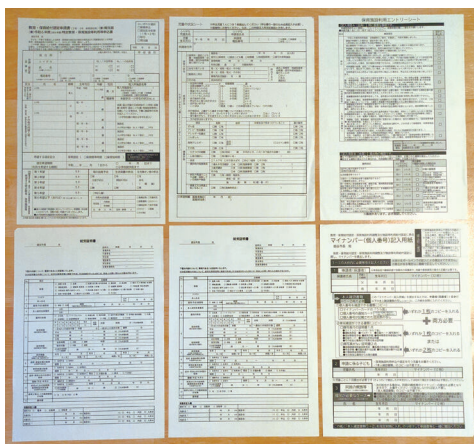
問 職員の不祥事、また再発防止策は。
市長 不祥事が相次ぎ、市への信用を失墜させ深くおわびする。訓示やコンプライアンス研修を通じ、公務員の自覚を促し、高い倫理観の保持及び法令遵守の徹底を図る。
問 不祥事を本人の気質とし組織問題と捉えてない。統制する組織を設ける考えは。
市長 特定の組織を設ける考えはない。
問 市長自身の不祥事への責任は。
市長 不祥事防止と信用回復に努める。



Q 保育施設入所の申請方法について

自由民主党越谷市議団 横井 聖美 議員

問 一斉面接の必要性、紙書類の申請に限定していること、またオンライン申請に対する考えは。
市長 今後も面接及び申請方法の大幅な変更は予定していない。面接は令和7年4月入所一斉受付から電子申請による事前予約制に変更する。またオンライン申請については、国において、保活ワンストップシステムを構築していくとのことから、動向等を踏まえ対応していく。



手書きして提出する申請書類一式



Q こども誰でも通園制度について

越谷刷新クラブ 武藤 智 議員

問 こども誰でも通園制度実施の考えは。
市長 令和7年度からの事業実施に向け、関係課所の職員で構成するプロジェクトチームを立ち上げるとともに、保護者に対するニーズ調査や保育事業者への事業実施意向調査を行う等、適宜検討を進めている。今後については国からの情報提供を踏まえ、市内事業者との協議を進め、事業実施に必須となる保育人材の確保等、令和7年度からの実施に向けて対応に取り組む。



Q 地域公共交通の活性化・再生について

公明党越谷市議団 畑谷 茂 議員

問 地域公共交通の活性化・再生の考えは。
市長 高齢者を対象とした運賃補助を行い、福祉的支援に取り組む方針である。
問 市立病院行きのバス路線事業者に対して再開に向けた働きかけは。
市長 運転手不足等のため、難しい状況とのことであるが、協議を継続していく。
問 交通空白地域の方々に対するタクシー利用券の上乗せの考えは。
市長 導入後、分析したうえ検討していく。



Q アリーナ誘致の考えについて

自由民主党越谷市議団 伊藤 治 議員

問 越谷アルファーズに対する支援、アリーナの誘致の考え方について伺いたい。具体的なアリーナの誘致先はどこになるのか。
市長 アリーナの誘致についてはさまざまなクリアしなければならない問題があると思っている。レイクタウン地内の市有地を第1候補として実現したいと考えている。
問 レイクタウンの約1万㎡の市の所有する場所に最終的に決定するということか。
市長 おっしゃるとおりである。



Q デジタル地域通貨の導入について

公明党越谷市議団 久保田 茂 議員

問 先進事例を参考に、市民ニーズに合った市内の多くの店舗や事業者が使いやすく、越谷まるこWAON・越谷まるこアプリをはじめ、健康マイレージや健康アプリ「きらぽ」、さらには公共交通の支払いなどとも連携できるようなデジタル地域通貨の導入の考えは。
市長 越谷商工会議所をはじめ、関連事業者の方々と連携しながら、先進事例を踏まえ検討していく。